

# 学力調査を活用した 区の実践

## 1 調査結果の分析【SP表(※)】

- ① 学年・学級ごとの傾向
- ② 単元ごとの個人のつまずき
- ③ 単元ごとの集団のつまずき

(学校・教育委員会)

[illegible]

学年、学級単位で、縦と横がそれぞれ児童・生徒（S：Student）と設問（P：Problem）の正答数の多い順に並べ替えた表の中に、S 曲線と P 曲線を書き入れたもの。これを活用することで、平均正答率だけでは把握できない全体の課題や傾向、個々の児童・生徒が理解していない可能性が高い設問を見つけ出すことができる。

- 204—